

お金の心配なく
大学や専門学校で学びたい

外国籍の 学生・高校生

のみなさんへ

学ぶ意欲がある学生は、
世帯収入などの要件を満たす場合には、
大学などの授業料や生活費のため

日本学生支援機構の奨学金

などを受けることができます

在留資格等

特別永住者

永住者
日本人の配偶者等
永住者の配偶者等

定住者

※将来永住する意思がある
方に限る

一定の要件を満たす 家族滞在 (R6.4~)

※日本の小学校等～高校等
を卒業し、大学などを卒業後
も日本で就労・定着する意
思がある方に限る

世帯収入

給付型奨学金等、授業料・入学金減免 (返さなくていい)

世帯年収 …約**380万円**以下 (目安)
多子世帯※の授業料等減免は、**所得制限なし**
私立理工農系の授業料等減免は、約**600万円**以下 (目安)
※扶養する子供が3人以上の世帯の場合

貸与型奨学金 (返す必要あり)

【無利子奨学金】
私立自宅通学・給与所得者・4人世帯・大学学部の場合
世帯年収…約**800万円**以下 (目安) など

いつ申請
するか

高校3年生の4月下旬～
または進学後の4月～/9月～

どこへ申請
するか

通っている学校から申請

※締切は学校ごとに異なります

【支援額など】

	給付型奨学金、授業料・入学金減免	貸与型奨学金
年収の基準	■ 第1区分 (満額支援) : 270万円程度以下 (住民税非課税世帯) ■ 第2区分 (2/3の支援) : 300万円程度以下 ■ 第3区分 (1/3の支援) : 380万円程度以下 ■ 第4区分※ : 600万円程度以下 ※①多子世帯の学生等 (給付奨学金は1/4、授業料等減免は満額の支援) ②私立理工農系の学部・学科に在籍する学生等 (1/4等の支援・授業料等減免のみ支援) 備考1 多子世帯は授業料等減免のみ満額を支援する (所得制限なし)。 2 年収は目安。世帯の構成や兄弟の年齢などにより異なる。	■ 家族構成等によって世帯年収の限度額は異なる。 以下は、私立自宅通学・給与所得者・4人世帯・大学学部の場合 無利子奨学金 約800万円 以下 有利子奨学金 約1,250万円 以下
対象となる 学校種	■ 一定の要件を満たした大学、短期大学、 高等専門学校 (4年・5年)、専門学校 対象となる学校は文部科学省ホームページを参照	■ 大学、短期大学、高等専門学校、専門学校、大学院
支援額	■ 年収等に応じた区分で支援額を決定 給付型奨学金の支援額例 (月額) 例) 世帯年収270万円以下で 自宅外から大学に通う場合 授業料減免の上限額 (年額) ※年額、単位未満は四捨五入 例) 世帯年収270万円以下で 大学に通う場合 (※) 国公立 66,700円 私立 75,800円 国公立 入学金28万円 授業料54万円 私立 入学金26万円 授業料70万円 ※多子世帯の場合も満額支援	■ 貸与月額を選択可能 大学学部の場合 無利子奨学金 2、3、4、5.4万円 (私立自宅通学の場合) 有利子奨学金 2～12万円の 1万円単位 入学時特別増額貸与奨学金 : 10～50万円の10万円単位 ※進学前に申請。進学後、貸与型奨学金の初回振込時に併せて貸与 ※入学時特別増額貸与奨学金のみの申請はできません。

詳細・問合せ先

- 文部科学省の特設サイト「高等教育の修学支援新制度」

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

- 日本学生支援機構

ホームページ

給付型奨学金

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

貸与型奨学金

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

奨学金

相談センター

電話 : 0570-666-301 (月～金、9時～20時) ※土日祝日、年末年始を除く
※通話料がかかります。

自分が支援の対象になるか調べてみよう

進学資金シミュレーター

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

給付奨学金・貸与奨学金
それぞれの基準に該当
するのかなどを調べることが
できます。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



出入国在留管理庁

Immigration Services Agency of Japan